

- 問1 青森県、福井県、鹿児島県、愛知県の各県庁所在地の面積と人口密度を比較した統計において、一平方キロメートルあたりの人口密度が七千人を超えており、中部地方の政治・経済の拠点となっている都市を答えなさい。（2026年 富山県公立入試 類似）
1. 鹿児島市 2. 名古屋市 3. 青森市 4. 福井市
- 問2 中部地方の各県における伝統的な地場産業について述べた説明として、最も適切なものを選択してください。（2022年 和歌山県公立入試 類似）
1. 福井県では、会津盆地から伝わった技術を用いた漆器である「会津塗」が、県内最大の地場産業となっている。
2. 石川県では、輪島市を中心に、漆を塗り重ねて作られる漆器である「輪島塗」の生産が受け継がれている。
3. 新潟県では、岩手県から伝来した「南部鉄器」の技法を応用した、伝統的な金属工芸品の生産が盛んである。
4. 石川県の金沢市周辺では、京都の伝統工芸である「西陣織」の最大級の生産拠点が形成されている。
- 問3 富山市では、公共交通を軸としたコンパクトなまちづくりを進めるために「富山ライトレール」が導入されました。この路線の利用者について、以前の移動手段を調査した統計では、かつてのJR富山港線を利用していた層は約46.8%に留まっています。この統計から読み取れる利用者の傾向として、適切な説明はどれですか。（2016年 長野県公立入試 類似）
1. 新規の利用者は存在せず、以前からバスを利用していた層がすべて鉄道利用に切り替わったことで利用者が維持されている。
2. 以前からJR富山港線を利用していた層が利用者の大半を占めており、自家用車から鉄道への乗り換えはほとんど見られない。
3. JR富山港線の廃止に伴い以前の利用者がいなくなったため、現在は主に自転車や徒歩で移動していた層が中心となって利用している。
4. かつてのJR富山港線を利用していなかった人が、自家用車からの乗り換えや新規の移動手段として、全体の3割以上も利用するようになった。
- 問4 石川県輪島市を中心に生産される「輪島塗」は、他の地域の漆器と比較しても非常に堅牢（丈夫）であることで知られています。その品質を維持し、製品の耐久性を高めるために行われている、この地域独自の技法に関する説明として最も適切なものはどれですか。（2022年 新潟県公立入試 類似）
1. 木材を乾燥させずに加工し、漆を染み込ませることでひび割れを防いでいる。
2. 下地の工程で、地元で採れる地粉（珪藻土）を漆に混ぜて塗り、器を補強している。
3. 接着剤を使わずに複雑な木組みを行うことで、衝撃を吸収する構造にしている。
4. 鉄を高温で熱して叩き、不純物を取り除くことで強度を高めている。
- 問5 中部地方の製造品出荷額に関する統計において、愛知県は日本全国で第1位の規模を誇ります。この愛知県の工業において、出荷額の過半数を占めている主要な産業分野と、その中心的な工業都市の組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2025年 兵庫県公立入試 類似）
1. 金属製品の製造が盛んで、燕市などがその中心である
2. 輸送用機械器具の製造が盛んで、豊田市などがその中心である
3. 精密機械器具の製造が盛んで、諏訪市などがその中心である
4. 化学工業の製造が盛んで、四日市市などがその中心である
- 問6 富山県で発生したイタイイタイ病をはじめとする四大公害病が社会問題となったことを背景に、1967年に制定された環境対策の基礎となる法律はどれですか。（2024年 静岡県公立入試 類似）
1. 資源有効利用促進法 2. 環境基本法 3. 公害対策基本法 4. 男女共同参画社会基本法
- 問7 愛知県では、約755万人という大規模な人口（大消費地）が身近にある利点を活かし、新鮮さが重要視される野菜や花き（切り花など）を生産して出荷する農業が盛んです。このような、大都市の周辺で行われる農業形態を何と呼びますか。（2022年 千葉県公立入試 類似）
1. 抑制栽培 2. 近郊農業 3. 促成栽培 4. 高冷地農業
- 問8 本州の中央部に位置し、飛騨山脈、木曽山脈、赤石山脈という標高3000m級の険しい山々が連なっている地域は、「日本の屋根」とも呼ばれています。これら3つの山脈の総称は何ですか。（2025年 青森県公立入試 類似）
1. 越後山脈 2. 関東山地 3. 奥羽山脈 4. 日本アルプス
- 問9 中部地方の北陸各県における製造業の特色について述べた文として、正しいものはどれですか。統計上の製造品出荷額の内訳を説明した内容に基づき、適切なものを選びなさい。（2016年 福岡県公立入試 類似）
1. 新潟県では化学工業が、富山県では繊維工業が、それぞれの県の製造品出荷額の半分以上を占めている。
2. 富山県では石油・石炭製品の割合が最も高く、福井県では電子部品の製造が中心となっている。
3. 福井県では印刷業が盛んに行われており、新潟県では輸送用機械の出荷額が最も多い。
4. 新潟県では食料品や電子部品の割合が高く、富山県では化学工業や輸送用機械の割合が高い。
- 問10 山梨県の甲府盆地周辺において、ぶどうや桃などの果樹栽培が盛んに行われている理由として、地形的・気候的特徴をふまえた説明として最も適切なものはどれですか。（2016年 兵庫県公立入試 類似）
1. 土砂が堆積してできた扇状地は水はけが良く、内陸部で日照時間が長いため果実の成長に適しているから。
2. 広大な平野部で機械化が進んでおり、稲作と組み合わせた二毛作が容易に行えるから。
3. 年間を通じて降水量が非常に多く、果樹の成長に必要な大量の水を確保しやすいから。
4. 標高の高い高冷地の涼しい気候を活かして、夏場に害虫の発生を抑えながら栽培できるから。
- 問11 新潟県、山梨県、長野県の農業産出額の統計において、各県で最も産出額が多い作物の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2017年 奈良県公立入試 類似）
1. 新潟県：米、山梨県：果実、長野県：野菜
2. 新潟県：米、山梨県：野菜、長野県：果実
3. 新潟県：野菜、山梨県：米、長野県：果実
4. 新潟県：果実、山梨県：野菜、長野県：米
- 問12 静岡県の太平洋沿岸部の気候特色である「冬の気温が高い」ことや「日照時間が長い」ことを生かして、この地域で古くから盛んに行われてきた産業の組み合わせとして適切なものはどれですか。（2023年 福岡県公立入試 類似）
1. 乾燥した気候に適した、小麦やライ麦の広大な農地での栽培
2. 茶の栽培や、温暖な気候を利用したビニールハウスによる施設園芸農業
3. 豊富な雪解け水を利用した、大規模な水田単作による稲作
4. 冷涼な気候に適した、キャベツやハクサイなどの高原野菜の栽培
- 問13 人口密度が1平方キロメートルあたり約4600人と非常に高く、人口が増加傾向にある愛知県のような都市部では、昼夜間人口比率が100%を超えています。このような現象が起こる主な理由として最も適切な説明を選びなさい。（2025年 福岡県公立入試 類似）
1. 観光資源が豊富であり、宿泊を伴わない日帰り観光客が夜間もそのまま滞在し続ける仕組みがあるため
2. 出生率が死亡率を大きく上回り、自然増によって年少人口の割合が周辺地域よりも高くなっているため
3. 大規模な集合住宅の建設が周辺部に進んだ結果、夜間に居住する人口が昼間の人口を上回ったため
4. 周辺の地域から通勤や通学のために流入する人口が、その地域から流出する人口を上回っているため

答え合わせ・解説

問1	答え 2 名古屋市	愛知県の県庁所在地である名古屋市は、他の地方の県庁所在地と比較しても人口密度が非常に高く、大規模な都市圏を形成しています。これは、名古屋市が中部地方全体を統括する政治・経済の拠点（広域中心都市）としての機能を持っているためです。
問2	答え 2 石川県では、輪島市を中心に、漆を塗り重ねて作られる漆器である「輪島塗」の生産が受け継がれている。	北陸地方（特に石川県）の伝統産業として代表的なのが輪島塗です。会津塗は福島県、南部鉄器は岩手県、西陣織は京都府が主な産地であり、地理的分野の入試問題では、これら伝統的工芸品の名称と都道府県名（地域名）を正確に結びつける力が問われます。
問3	答え 4 かつてのJR富山港線を利用していなかった人が、自家用車からの乗り換えや新規の移動手段として、全体の3割以上も利用するようになった。	富山ライトレールの開業は、路面電車の利便性を活かして自家用車への過度な依存を抑える狙いがありました。実際の利用者の内訳を見ると、旧JR時代の利用者は半分以上であり、以前は自家用車を使っていた層（11.5%）や、新たにその区間を移動するようになった「新規」の層（20.5%）が合わせて3割を超えています。このように、JR富山港線を利用していなかった層を新たに取り込むことに成功した点が、交通政策上の大きな特徴です。
問4	答え 2 下地の工程で、地元で採れる地粉（珪藻土）を漆に混ぜて塗り、器を補強している。	輪島塗が「堅牢」と言われる最大の理由は、下地作りにあります。輪島特産の地粉（じのこ）と呼ばれる珪藻土を焼いた粉を漆に混ぜて何度も塗り重ねることで、漆器の弱点である縁（ふち）などの摩耗しやすい部分を徹底的に補強しています。これにより、修理をしながら一生使い続けることができるほどの丈夫さが生まれます。他の選択肢は金属加工や木工技術の説明であり、漆器の技法ではありません。
問5	答え 2 輸送用機械器具の製造が盛んで、豊田市などがその中心である	愛知県は自動車工業を中心とした「輸送用機械器具」の生産が極めて盛んで、出荷額は長年にわたり全国1位を維持しています。特に豊田市は、世界的な自動車メーカーの本社や工場が集積する企業城下町として知られています。精密機械は主に長野県、金属製品（カトラリー等）は新潟県の特色であるため、愛知県の特色と正しく区別する必要があります。
問6	答え 3 公害対策基本法	高度経済成長期に深刻化したイタイイタイ病、水俣病、第二水俣病、四日市ぜんそくの四大公害病を受け、政府は1967年に公害対策を総合的に進めるための「公害対策基本法」を制定しました。なお、1993年には、地球温暖化などの新しい環境問題に対応するため、現在の「環境基本法」へと発展的に解消されています。
問7	答え 2 近郊農業	大都市のすぐ近くで農産物を生産する「近郊農業」は、消費地までの距離が近いこと、輸送コストを抑えられるほか、鮮度が高い状態で商品を届けられるという利点があります。愛知県では名古屋市という大都市向けの出荷に加え、交通網の発達により関東や関西の市場へも多くの農産物を供給しています。
問8	答え 4 日本アルプス	本州中央部にそびえる飛騨・木曽・赤石の3つの山脈は、その険しい景観がヨーロッパのアルプス山脈に似ていることから、総称して日本アルプスと呼ばれています。これらはフォッサマグナの西側に位置し、3000m級の高峰が連なっています。
問9	答え 4 新潟県では食料品や電子部品の割合が高く、富山県では化学工業や輸送用機械の割合が高い。	北陸地方は県ごとに発達している工業分野が異なります。新潟県では米どころとしての背景から食料品工業が発達しているほか、電子部品の製造も盛んです。富山県では、豊富な水資源と電力を背景に発展した薬品などの化学工業や、輸送用機械の割合が高いという特色があります。選択肢にある石油・石炭製品や印刷業は、この地域の主な特色とは言えません。
問10	答え 1 土砂が堆積してできた扇状地は水はけが良く、内陸部で日照時間が長いこと果実の成長に適しているから。	甲府盆地の縁には、川が山地から平地に出る場所土砂が堆積してできた扇状地が広がっています。扇状地は砂や礫が多く水はけが良いため、稲作よりも果樹栽培に適した土地利用がなされてきました。さらに、山梨県は日本有数の日照時間の長さを誇り、太陽の光をたっぷり浴びることで果実の糖度が高くなるという気候的利点も備えています。
問11	答え 1 新潟県：米、山梨県：果実、長野県：野菜	新潟県は越後平野を中心に日本有数の米の産地として知られ、農業産出額でも米が圧倒的な割合を占めます。山梨県は甲府盆地の扇状地などの水はけのよい地形を利用したブドウやモモなどの果実栽培が盛んです。長野県は、冷涼な高原の気候を活かしたレタスやキャベツなどの野菜（高冷地農業）の産出額が大きくなっています。
問12	答え 2 茶の栽培や、温暖な気候を利用したビニールハウスによる施設園芸農業	太平洋側の温暖な気候と水はけの良い傾斜地などの地形は、茶の栽培に非常に適しています。また、冬でも日照時間が長く温暖であるため、ビニールハウスなどを使って野菜や花を育てる施設園芸農業も盛んです。一方、高原野菜は中央高地（長野県など）の冷涼な気候を利用したものであり、稲作の単作地帯は主に日本海側に見られます。
問13	答え 4 周辺の地域から通勤や通学のために流入する人口が、その地域から流出する人口を上回っているため	昼夜間人口比率は、夜間の居住人口に対する昼間人口（常住人口＋流入人口－流出人口）の割合を示したものです。名古屋市のような大都市を抱える地域では、企業や学校が集中しているため、周辺の自治体から多くの人々が仕事や勉強のために集まります。その結果、昼間の人口が夜間の居住人口を上回り、比率が100%を超えることになります。